

災害に備え、みんなで避難所を設営してみよう！

4月に発生した熊本地震では、熊本県を中心に避難者が約18万人、避難所の開設数が最大855カ所となり、避難体制の整備の必要性が再認識されました。いざという時に備え、日頃から避難場所・避難方法・避難ルートをよく確認するとともに、自主防災会にあたっては、避難所となる学校施設等の避難所の設営・運営を訓練しておきましょう！

【避難所設営・運営について】

- 災害時には、避難所の設営・運営は、地域住民が主体となり行います。
- 6月に行われた、宝小学校・都留第二中学校避難所での避難所設営訓練の様子を紹介します。

問合先 総務課 危機管理担当 ☎(46)0111(直通)



居住スペース・通路を確保します



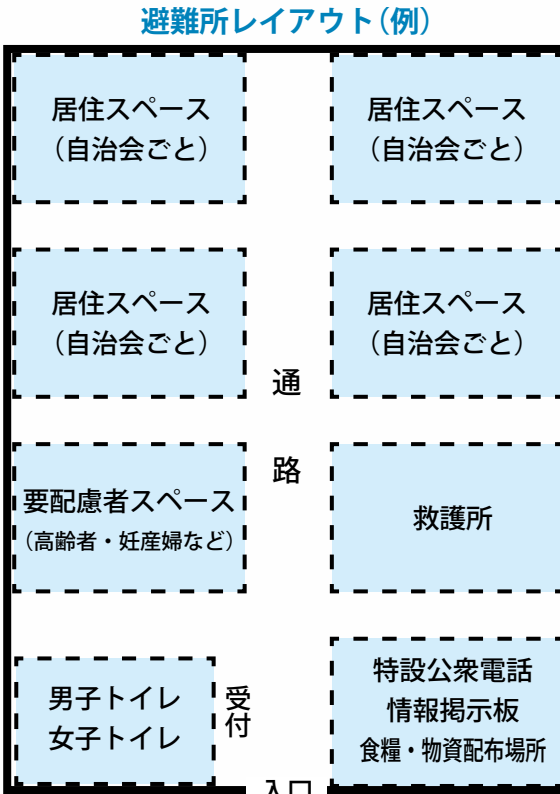
避難所設営は、市防災倉庫の資機材等を使います



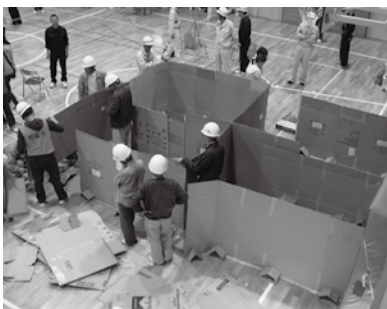
停電に備え、発電機・投光器を設置します



更衣室・授乳室を設置します



救急箱を用意し救護所を設置します



段ボールを活用し、個室をつくります



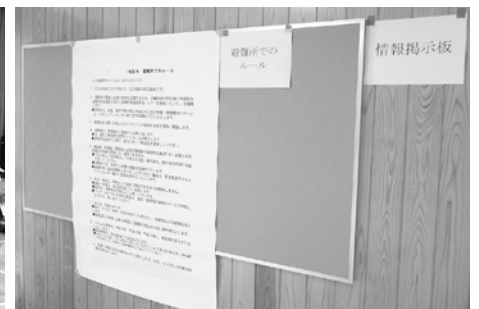
特設公衆電話を設置します



畳などを活用し、簡易ベッドをつくります



ペットの飼育場所を設置します
(避難所設営時には屋外に設置します)



情報掲示板を設置します